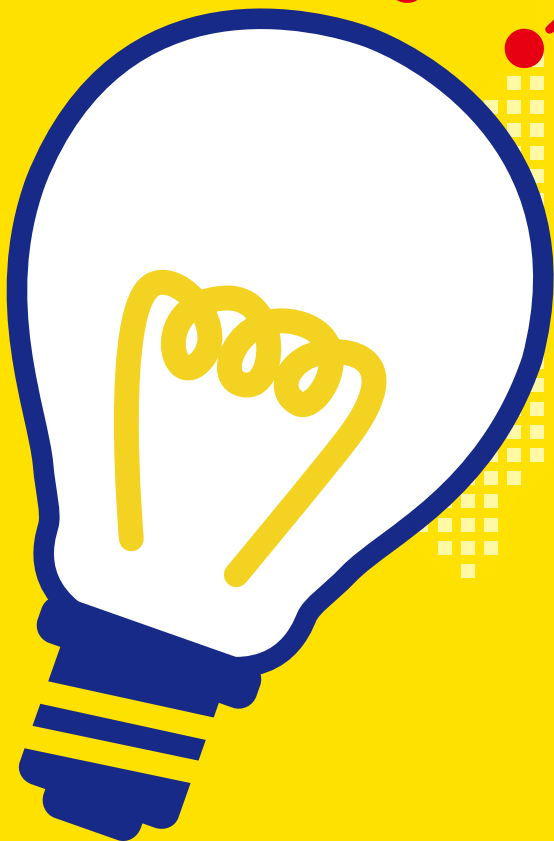


JAグループ福岡を結集!
2022 県域オールJAへ!!
農業・農村の新時代を切り拓く。

ひとつの福岡! 県域オールJAを目指して



この一冊で **?** が **!** に
明解!
県域オールJA
ガイド

～目 次～

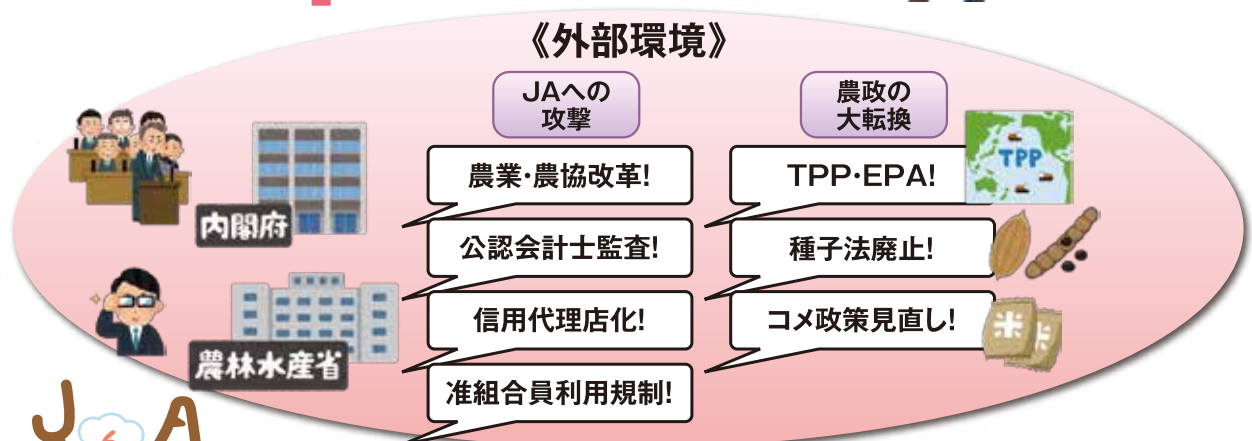
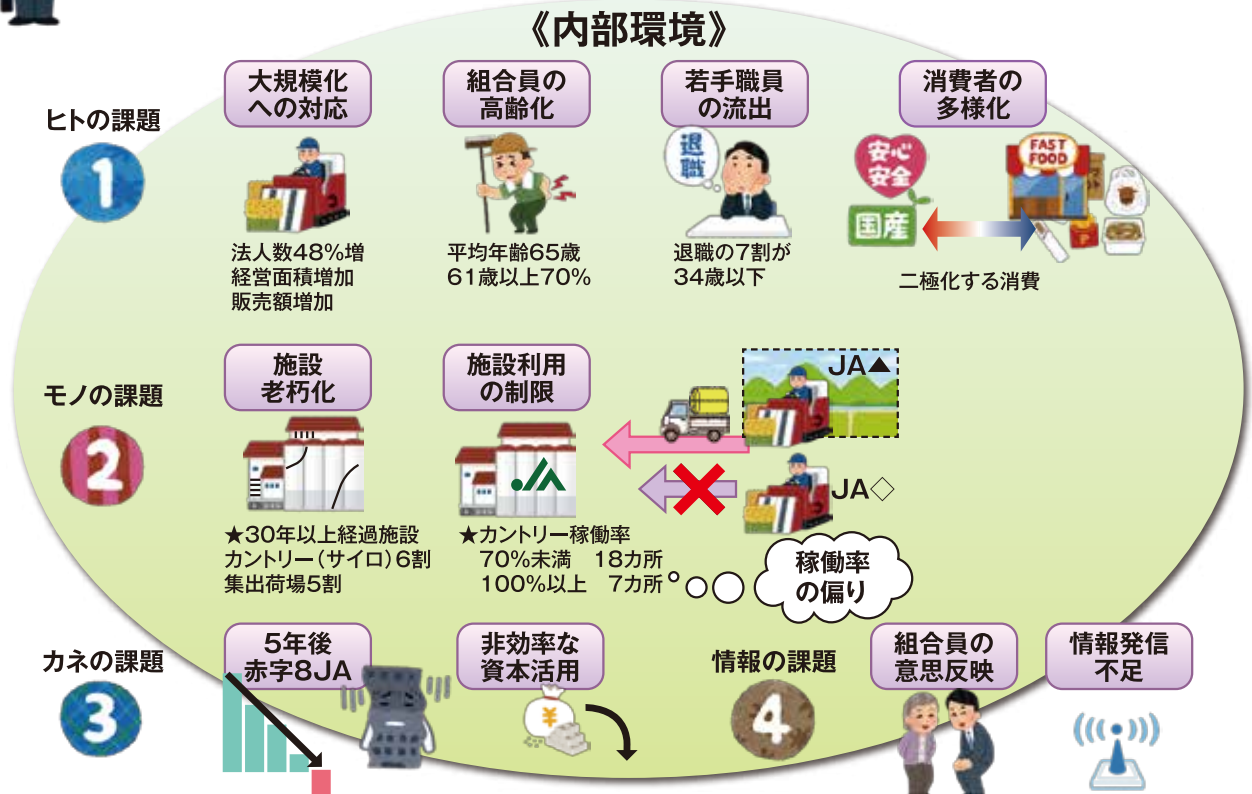
福岡の農業・JAを取り巻く環境認識	1
県域オールJAのメリット	2
JAグループ福岡に対する期待	4
県域オールJAのめざすもの	5
組織体制	6
営農指導	8
農畜産物販売	10
農畜産物物流	12
営農関連施設	14
JA直売所	16
生産資材	18
農業機械	20
福産福消	22
就農支援充実	24
支店相談機能充実	25
JAファン感謝祭	26
存在意義の発揮①	27
存在意義の発揮②	28
存在意義の発揮③	29



変革の時代と呼ばれる世の中、JAも未来へ
羽ばたくための変革を目指してるよ。
それが「県域オールJA」!
ページをめくってね。読み進めていけば、
光り輝くJAの明日が、ピカッと見えてくるよ♪



福岡の農業・JAを取り巻く環境は厳しさを増しています。
今のJAのままで厳しい現状を打開し、将来も引き続き組合員に貢献できるのか…ともに考えましょう!



そうだ! 組合員・地域の期待に応えるJAであり続けるため、
そうそう! 将来にわたって農業を継続できる環境を整備
するため、**戦略的な「先の一歩」が必要だね!**

最短期間で最大の効果を発揮するためには…

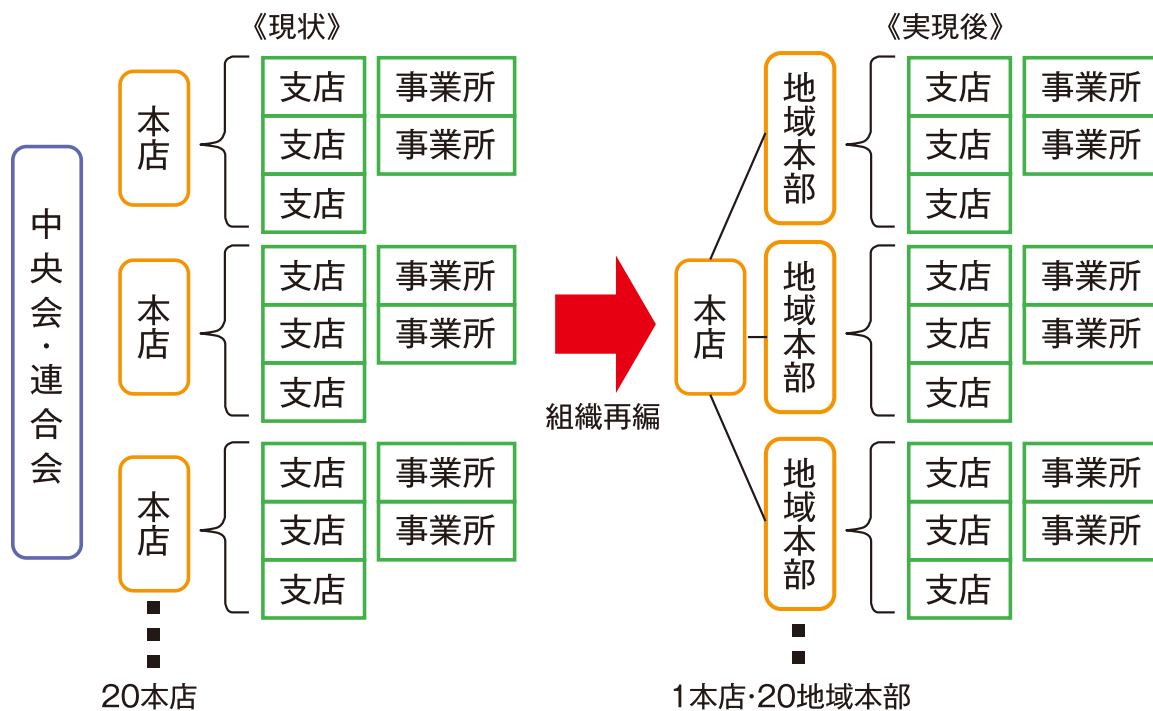


経営資源の一元化が必要! = 県域オールJAが必要!!



《県域オールJA実現後のすがた》

- ① 連合会・中央会機能も承継して、本店をひとつに!より専門的に!
- ② 支店・事業所の要員・機能強化により現場力を向上!
- ③ 現JAは「地域本部」として地域に密着した事業を展開!



県域合併(経営資源一元化)は
 どのようなメリットがあるの?

県域オールJAのメリットについて
 お答えします!

- ★**県域スケールメリットを発揮します!**
 〈ブランド力・販売力強化、資材仕入交渉力強化〉
- ★**県域での事業効率化に取り組みます!**
 〈県域物流再編、コスト管理・在庫管理の徹底〉
- ★**県産県消(福産福消)体制を構築します!**
 〈新市場開拓、県産農畜産物の流通改革〉
- ★**重複業務・重複機能を集約します!**
 〈20JA本店重複業務・連合会業務の集約〉
- ★**自己改革をスピードアップします!**
 〈JA総合事業のメリット最大化、利用エリア制限解消〉
 〈組合員加入促進、組合員還元充実、会計監査費用圧縮〉
- ★**農政運動や政府への発言力を強化します!**
 〈農政活動一本化、広報力・情報発信強化〉
 〈准組合員利用規制、信用代理店化圧力への対抗〉





県域オールJAが実現した場合…全国屈指のJAとして様々な事業・活動・投資に取り組むことが可能になります!!

- ☆組合員数:全国 **1位**
- ☆貯金:全国 **1位** ☆貸出金:全国 **1位** ☆長期共済:全国 **1位**
- ☆販売品販売高:全国 **1位** ☆購買品供給高:全国 **1位**
- ★総資産3兆1,138億円 ★固定資産1,256億円 ★組合員資本1,696億円

《県内20JAの現状》

(単位:千人、人、億円)

組織名	組合員数			職員数	貯金	貸出金	長期共済	販売品販売高	購買品供給高	内部留保	
	正	准								うち出資金	
むなかた	21	3	18	405	1,472	388	3,793	24	20	68	25
粕屋	18	5	13	286	1,850	761	5,783	16	11	116	37
福岡市東部	17	2	15	196	1,825	907	2,824	3	5	110	34
福岡市	38	7	32	635	3,970	2,007	8,420	43	27	232	50
糸島	17	6	11	382	1,108	159	3,982	110	32	87	20
筑紫	21	3	17	472	3,339	1,758	6,423	23	12	209	49
筑前あさくら	15	8	7	538	1,472	200	4,848	96	66	91	38
にじ	19	7	12	316	763	115	2,773	66	32	65	17
みい	9	5	4	280	700	136	2,856	85	27	44	17
くるめ	15	5	9	362	1,123	279	4,305	63	32	71	14
みづま	3	1	1	59	168	39	550	13	7	13	4
福岡大城	7	5	2	141	463	48	1,668	83	21	39	20
ふくおか八女	27	11	16	1,038	2,421	354	8,685	254	134	146	36
柳川	11	6	4	256	711	100	2,197	54	23	50	12
みなみ筑後	12	5	7	279	943	107	3,106	86	37	45	19
北九	35	8	27	543	2,489	525	7,085	45	19	126	33
直鞍	9	4	5	152	650	93	1,581	16	19	35	7
ふくおか嘉穂	17	6	11	284	1,220	178	3,541	32	25	47	19
たがわ	14	7	6	268	954	62	2,073	20	25	39	27
福岡京築	26	14	12	507	1,567	132	5,270	51	46	63	28
県合計	352	119	233	7,399	29,209	8,348	81,764	1,183	618	1,696	506

《1県1JA比較参考》

(単位:千人、億円)

組織名	合併時期(予定)	組合員数	貯金	貸出金	長期共済	販売品販売高	購買品供給高
福岡県	-	352	29,209	8,348	81,764	1,183	618
JAならけん	1999/4/1	100	12,948	2,918	27,874	181	138
JA香川	2000/4/1	137	17,059	1,744	47,338	401	209
JAおきなわ	2002/4/1	137	8,532	2,889	36,544	649	455
JALまね	2015/3/1	233	9,939	3,081	36,594	391	341
高知県	(2019/1/1)	121	9,172	1,385	13,408	694	326
山口県	(2019/4/1)	225	12,244	2,574	30,981	250	208
福井県	(2020/4/1)	115	9,124	1,748	37,783	261	316



県域オールJAの経営資源をうーんと最大限に活かして、「組合員にとっての」新しい価値を創り、あらゆる事業改革を実現しよう!そうしよう! 県域オールJAは「ふくおか農業のNO. 1サポーター」になるんだ!

JAグループ福岡に対する期待

組合員アンケートや役職員インタビューでは、
JAグループ福岡に対するたくさんの「期待」が寄せられています。



～組合員の期待～



営農指導・販売事業に
もっと力を入れてほしい!

いつでも、なんでも
相談できる
JAであってほしい!

身近な存在で
あってほしい!



～地域・利用者の期待～

安全・安心な食材を
届けてほしい!



地域に密着した
親しみある
JAであってほしい!

～役職員の想い～

現場対応力の
強化が必要!



農を基軸とした
協同組合、
必要とされるJA!



組合員所得を向上する
事業改革が必要!



県域オールJAは

農業、組合員、JAグループに関するあらゆる課題の解決に向かって、豊富な経営資源を活用して、県域スケールメリットを発揮し

「農業者の所得増大」

「地域協同組合としての存在意義の発揮」

「JA経営の安定化」を実現します。

県域オールJAがめざすもの

県域オールJAビジョン



～あなたとふるさとのいちばん近くに～

“食と農”の新たな価値を創造し、
ふくおかの暮らしを豊かにするナンバーワンJAをめざします。

フレーズ	意味解釈
あなた	組合員、利用者
ふるさと	福岡県の地域
いちばん ナンバーワン	組合員・地域にとってNo.1の、ひとつになる
近く	親しみやすさ、身近な存在、身近な支店・事業所
食と農	「農村と都市」「生産と消費」
新たな価値	「組合員満足」「地域貢献」「安定経営」 事業革新、情報活用、小さな協同・大きな協同
暮らし	正組合員の営農と生活、准組合員・利用者の生活

次のページから、いまのJAが抱える課題と、その課題を受けて県域オールJAがどのような新しい価値を創り上げていこうとしているのかを紹介するよ。
それでは、最後までしっかり読んでね。レッツゴー♪



課題

☆共有すべき課題☆

現場対応力を最大化する組織体制の構築が必要!

JAと中央会・連合会の組織再編=県域オールJA

440人	JA本店1,700人 (全体の30%)	支店2,700人(40%) 事業所等1,800人(30%)
------	------------------------	----------------------------------

全国連(全中・農林中金・全農・全共連)

県段階(中央会・連合会)



【参考】県域オールJAに中央会・連合会の県域機能を承継



組織整備専門委員会



厳しい現状を打開し、必要とされるJAとして存在し続けるためには**県下1JA構想**が必要!

組織整備専門委員会の答申では

- ①2022年までに県下1JAを実現すること
- ②合併構想の研究・推進体制を構築すること
- ③中央会・連合会の県域機能・経営資源も順次JAに移管することなどが示されました。

対応力を強化します!



現場力強化!!

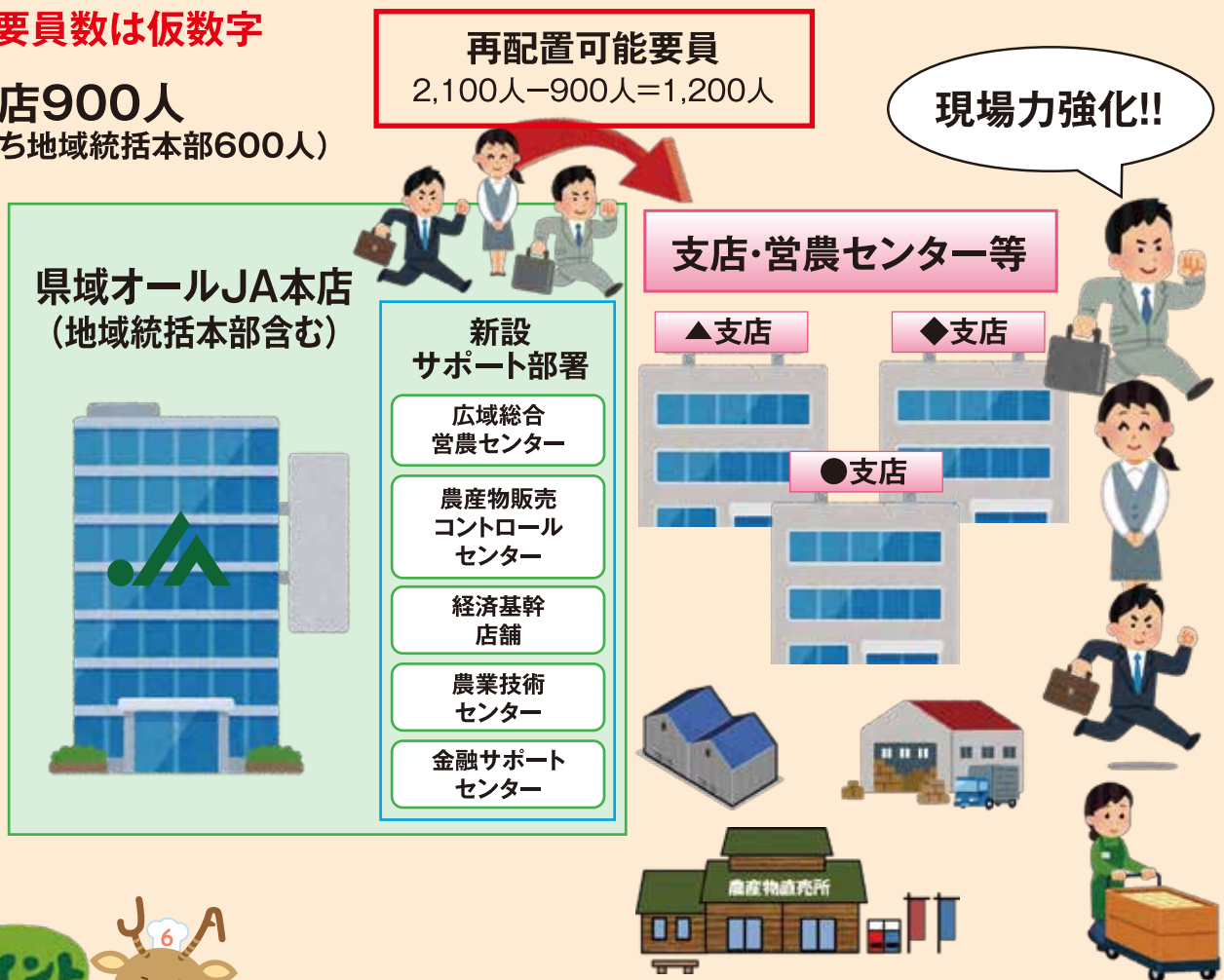
重要!

20JAの本店業務および中央会・連合会機能を集約・効率化し、支店や営農センター等、組合員の近くに職員を配置します。

※要員数は仮数字

本店900人
(うち地域統括本部600人)

再配置可能要員
2,100人-900人=1,200人



組合員との接点を強化!現場対応力強化!

組合員接点となる支店・事業所がJA経営の主役となり、本店や地域統括本部は現場で活躍する職員が働きやすいよう、しっかりサポートする役割を担います。

県域で人財活用!(人的スケールメリット)

組合員や役職員の知識・ノウハウ・専門技術を県域エリアで有効に活用することで、生産性の向上や効率化、事業改革を進め、ビジョンに示す「ナンバーワンJA」を目指します。



課題

☆共有すべき課題☆

組合員満足を最大化する営農指導の実現が必要!

～組合員の声～



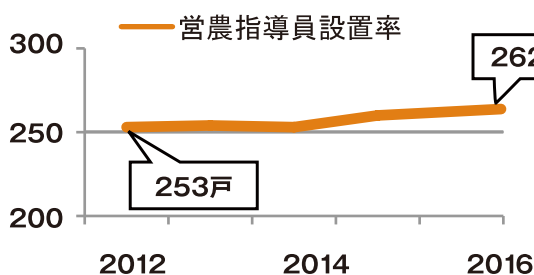
- ☆ただ訪問するだけでなく、「自ら提案」してほしい!
- ☆相談したいのに誰に聞けばいいかわからない!
- ☆職員は色々な仕事を掛け持ちして疲れているんじゃない?

～職員の気持ち～



- ☆相談に対応できる情報や知識が不足している…
- ☆事業推進が気になって本来業務に集中できない…
- ☆引継ぎが上手くいかずノウハウが個人に蓄積される…

【参考】指導員1人あたりの正組合員戸数(営農指導員設置率)は横ばい



営農指導員設置率横ばい
→ 正戸数減少率≒指導員減少率





現場力強化!!

かな営農指導を実現します!

重要!



営農指導員が営農指導に専念できる体制を構築します。

営農指導員の訪問を充実し、GAP (農業工程管理) の考え方に
基づくきめ細やかな営農指導を実施します。

GAPに基づく営農指導



整理
整頓
環境
保全

労働
安全
衛生
管理



営農指導員

Good (適正な)
Agricultural (農業の)
Practice (やり方)

専門的
サポート体制

営農専門技術員

経済専任

経営コンサル

販売専任

ポイント



餅は餅屋に!

営農指導員が兼任していた業務は他の職員が「専門家」として
担当します。また、キャリアアップ制度を設けることで、指導員
の計画的な育成を行い、より専門的な営農指導を実現します。

営農・経済部門職員キャリアアップ制度

営農配属職員
着任~3年目(初級職員)



指導力

資材
知識

企画力

基礎研修
基礎資格

日本農業
技術検定2級

営農指導員(中級・上級)
(営農経済総合相談員)



指導力↑

↑
資材
知識

↑
企画力

専門資格・
専門コース

販売専任



営農専門技術員

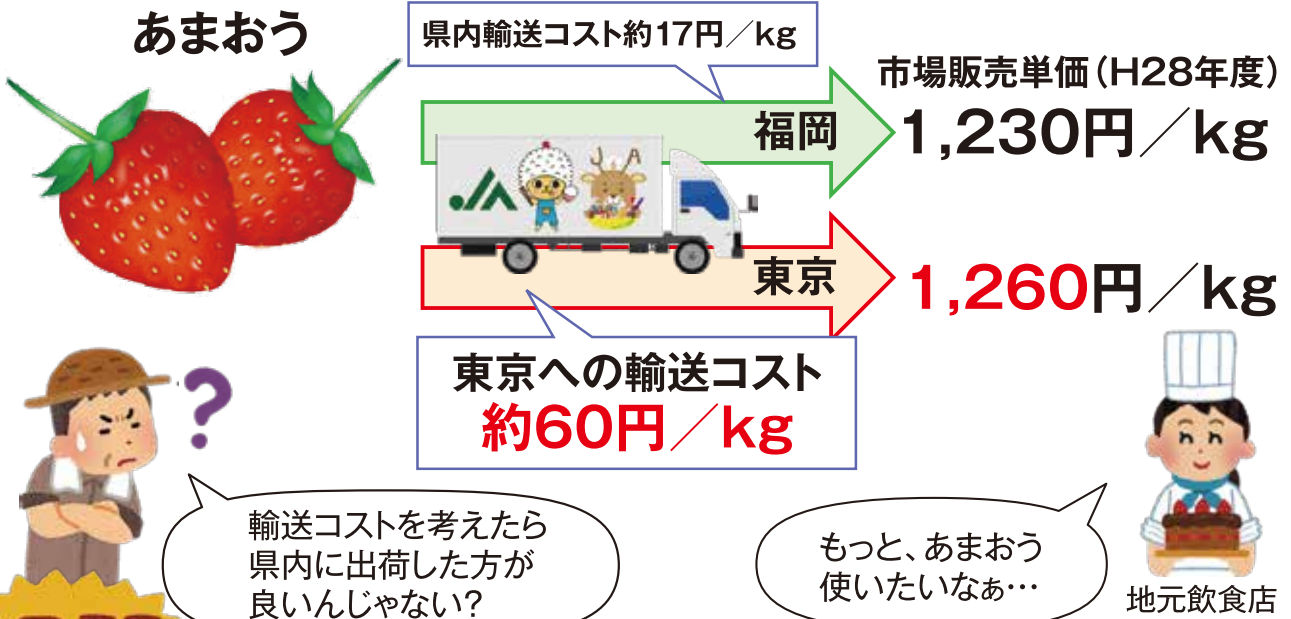


経営コンサル



経済専任

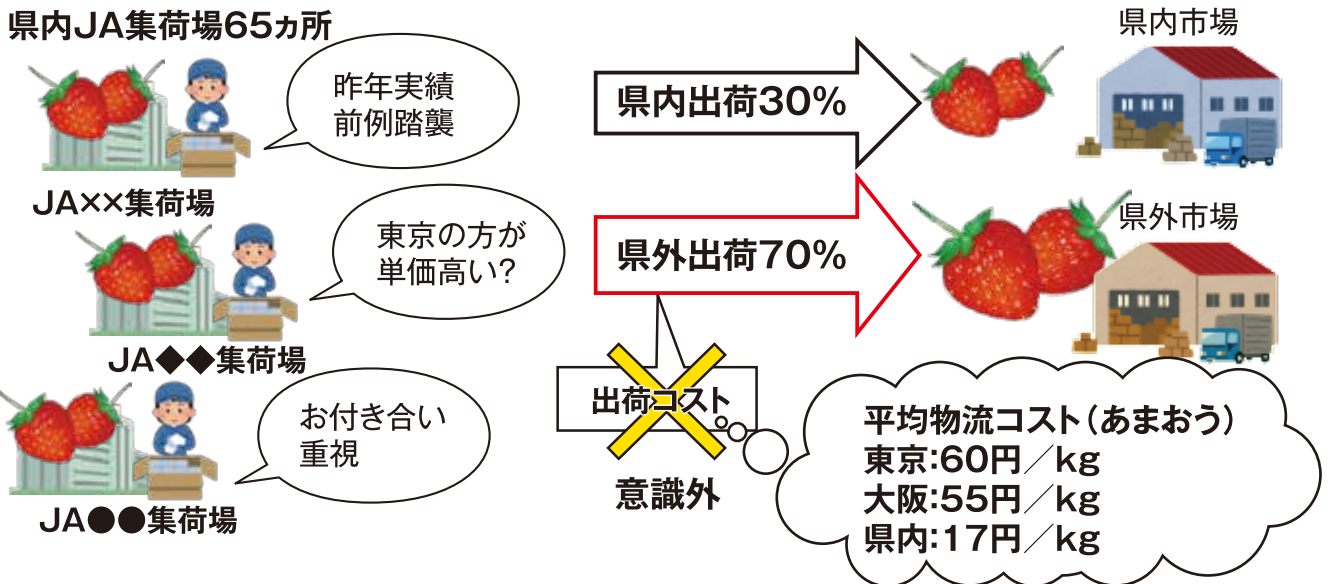




課題

☆共有すべき課題☆

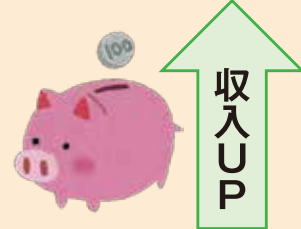
組合員所得を最大化する販売体制の構築が必要!



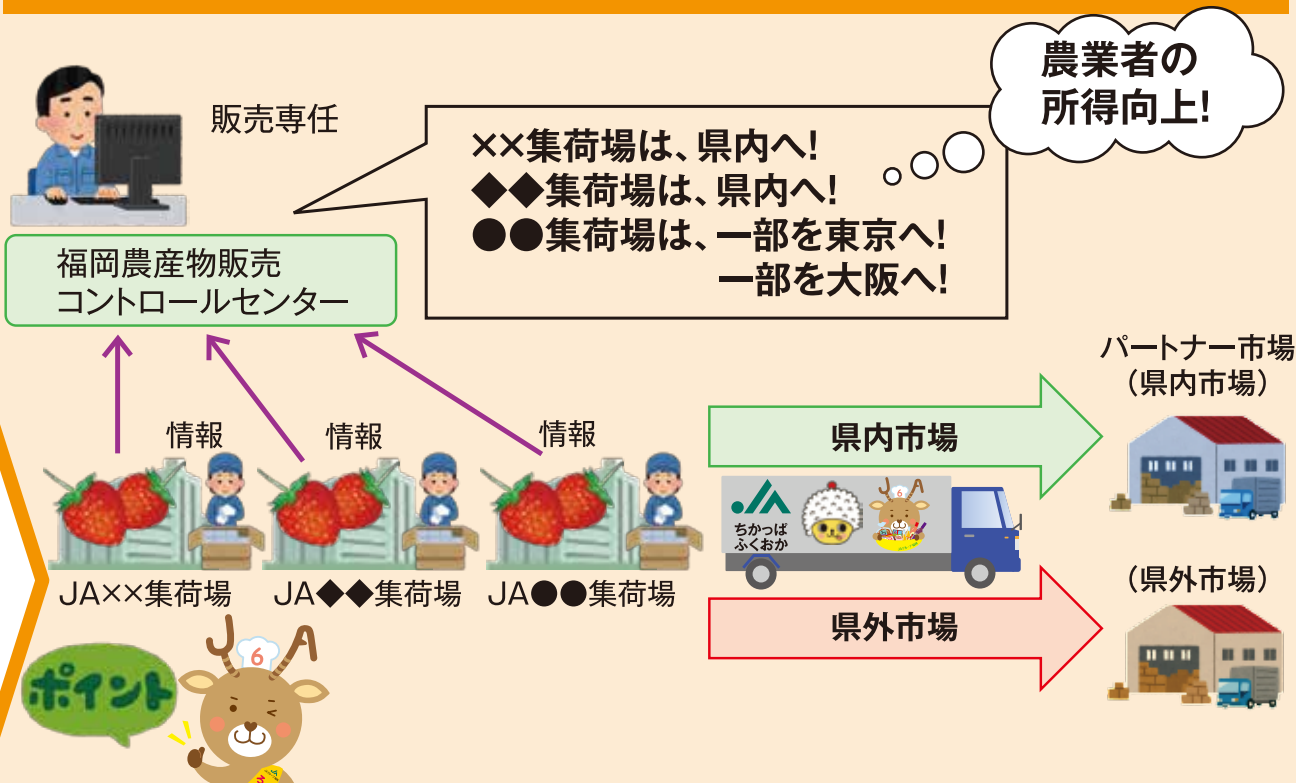
【参考】福岡県の生産農業所得の推移(農水省調査)



の所得向上を実現します!



「どこで、なにが、どのくらい」生産・集荷されているかを管理し、
 農業者の所得を最大化するための販売ルート決定や、
 「福産福消」を拡大するための出荷指示を行います。



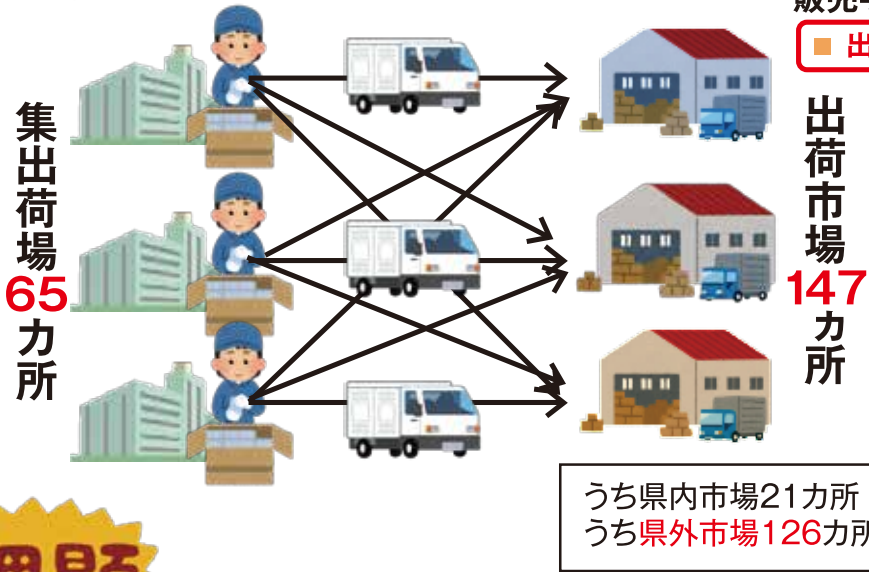
パートナー市場とは?

県域オールJAの販売方針・販売目標を共有してもらえる市場のことです。パートナー市場と優先的出荷契約を締結し、指名販売によって販売事業の安定強化を図ります。

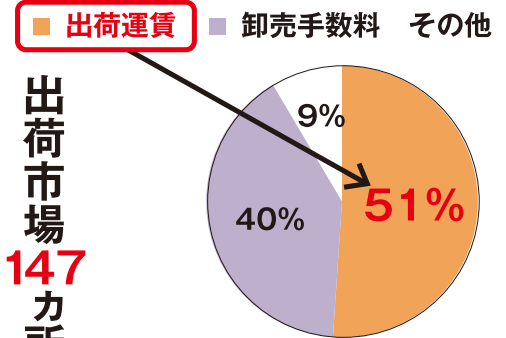




複雑な出荷ルートが原因で
出荷運賃割合が高いんじゃないの？



販売手数料の内訳(農水省調査)



課題

☆共有すべき課題☆

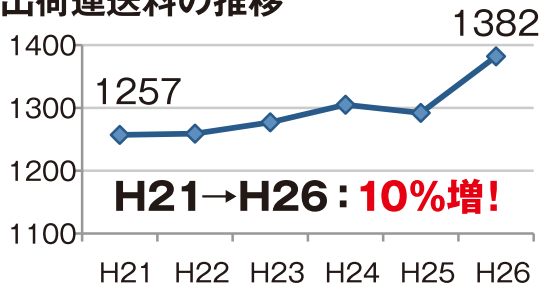
コスト低減を目指した物流の効率化・最適化が必要!

【参考】物流業界を取り巻く環境

★出荷運送料の増加★

青果物100kgあたりの出荷運送料は
5年間で125円(約10%)増加!

出荷運送料の推移



★トラックドライバー不足★

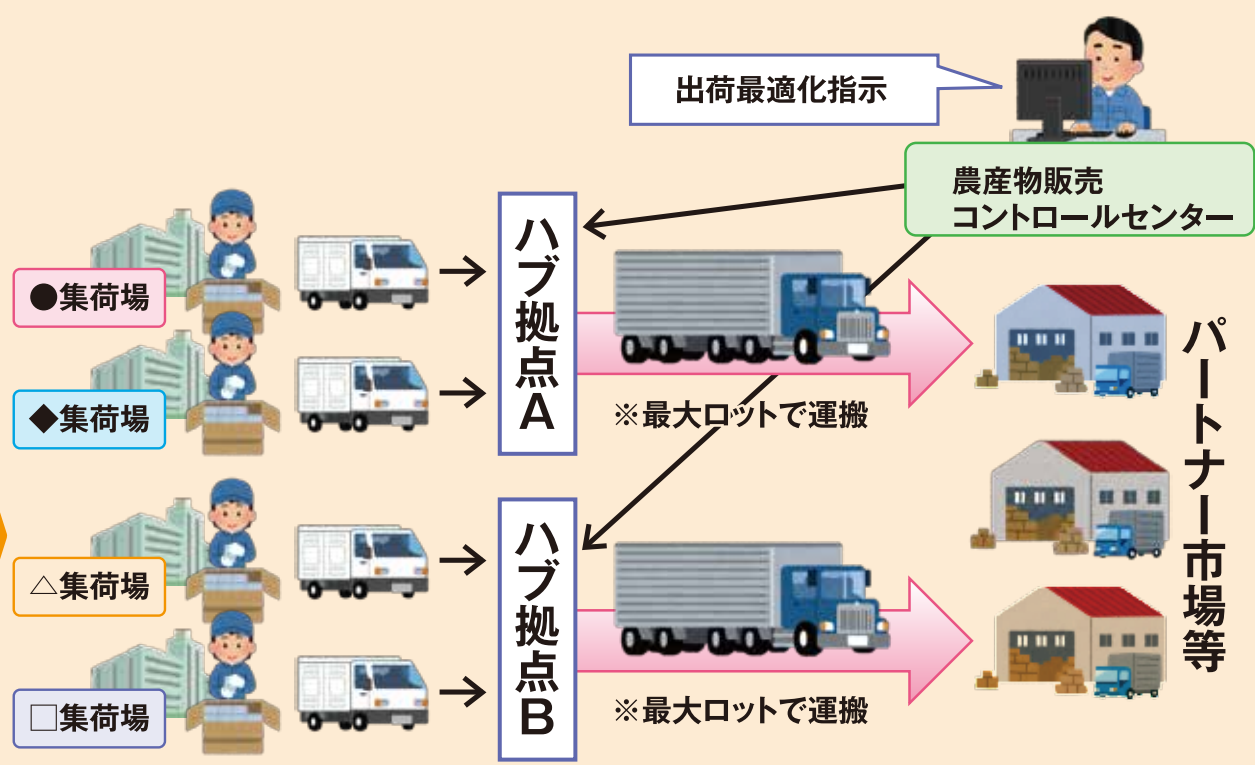
高年齢従事者割合が急増!
若手・中堅層が極端に少ない!



コストを低減します!



県域オールJAは農畜産物出荷物流の再編により、
効率的な物流体制を構築し、物流コストを低減します。

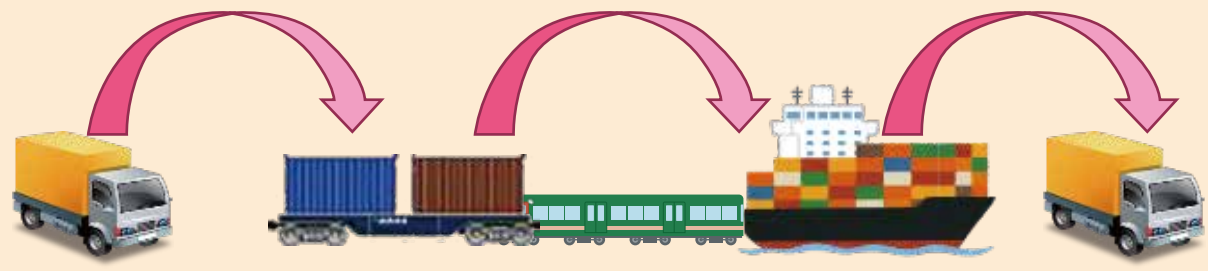


農畜産物出荷物流の交通整理!

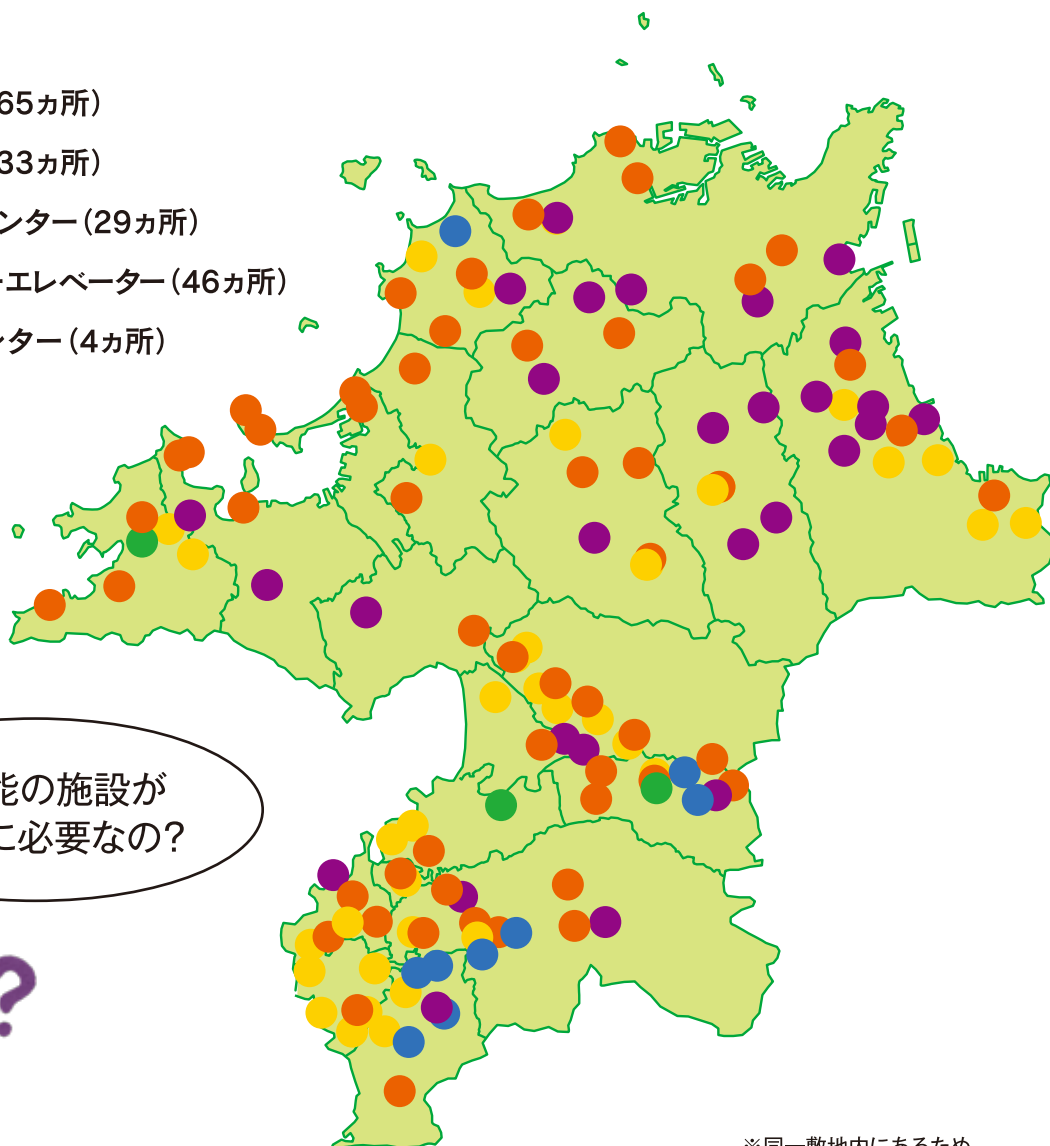
ハブ拠点の設置や農産物販売コントロールセンターの統制に基づく戦略的物流によって、積載ロット最適化や物流効率化を図ります。

鉄道・船舶による輸送を研究!

県外・国外への輸送は、鉄道や船舶にもそのまま積載できるコンテナを活用し、輸送コスト低減を図ります。



- 集荷場 (65カ所)
- 選果場 (33カ所)
- ライスセンター (29カ所)
- カントリーエレベーター (46カ所)
- 流通センター (4カ所)



同じ機能の施設が
こんなに必要なの？



※同一敷地内にあるため、
表示されていない施設があります

課題

☆共有すべき課題☆

組合員の利便性を起点とした最適施設利用が必要!

【参考】県内カントリーエレベーターの稼働率(H28)

稼働率(米)…… 70%未満18カ所

稼働率(米)…… 100%以上7カ所

福岡地区平均……米72%、麦75%

久留米地区平均…米69%、麦124%

小倉地区平均……米83%、麦138%

稼働率の
偏り



と効率性を両立します!



重要!



県域オールJAになることで、組合員は県内どこの施設でも利用
することができ、利便性が向上します。

県域オールJAは、施設の役割分担や再編をすすめ、計画的投資
によって機能向上を図るなど、利便性と効率性を両立します。

近くにも出荷できる
ようになった!



従来範囲

県域オールJA実現後



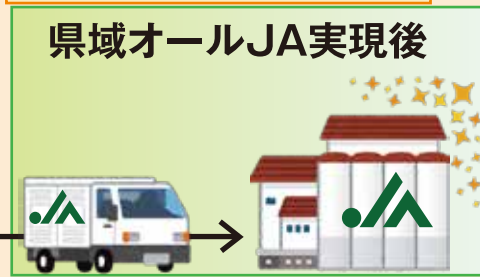
稼働率向上

施設効率運用三カ条

☆組合員の**利便性**を最重視

☆全体**稼働率**の向上を追求

☆**生産拡大**につながる施設配置



高性能施設にJAが横持ち

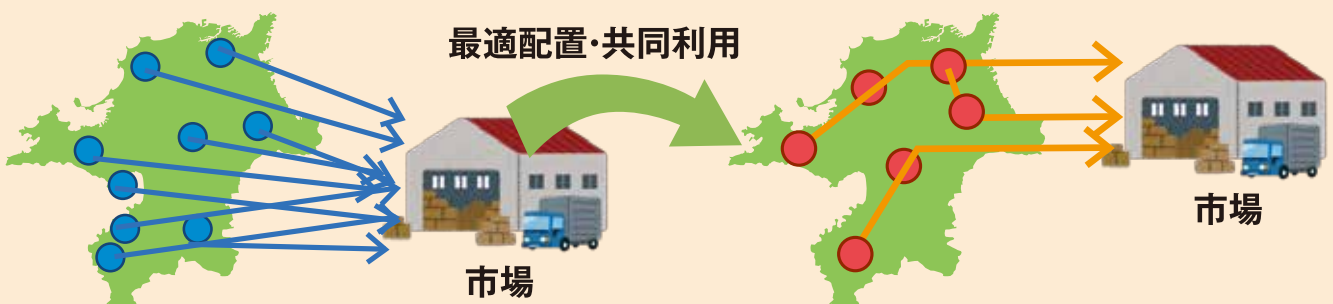


ポイント



施設共同利用の最適化で農業者所得を向上!

集荷ロットがまとまることによって、物流コストの削減や市場交渉力強化
(販売力向上)につながります。



県域オールJAが売れる



お昼過ぎると
良いものが少ない



午後は売れないから
午前中に出そう

JA直営47店舗のうち
15店舗で**売上高減少**



主要因(①~④の悪循環!)
①品不足→②利用者離れ
→③売れない→④出荷減→①

課題

☆共有すべき課題☆

販売機会を最大化する直売所機能の拡大が必要!

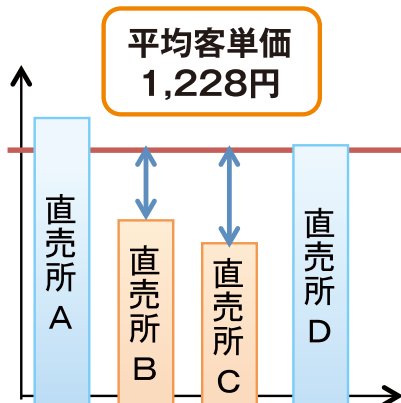


直売所間リレー

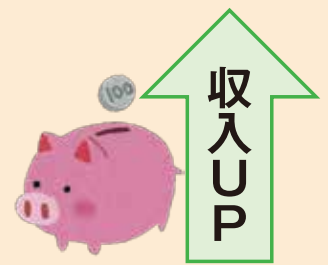


平均客単価以上 22直売所
平均客単価未満 25直売所

品不足解消によって平均未満25店舗の
客単価が**100円**上がると…
県全体の販売高は?



モノづくりを推進します!



重要!

県域オールJAは直売所機能を大幅に拡大するとともに、直売所間リレーにより、魅力的かつ豊富な品揃えを実現します。
直売所の販売情報を営農指導に有効活用することで、生産力向上および「売れるモノづくり」を推進します。

直売所機能拡大!



ネット直売所を整備! いつでもどこでも「ふくおか産」!

県内・全国の消費者をターゲットに、県域ネット直売所を開設し、新規顧客を開拓します。ネット直売所は出荷者登録制とし、子育て世代や飲食店経営者など、利用者ニーズに合わせた専用ページに誘導することで販売マッチング機能を充実します。



県域オールJAが生産資材

まとめて運べば安いのでは？

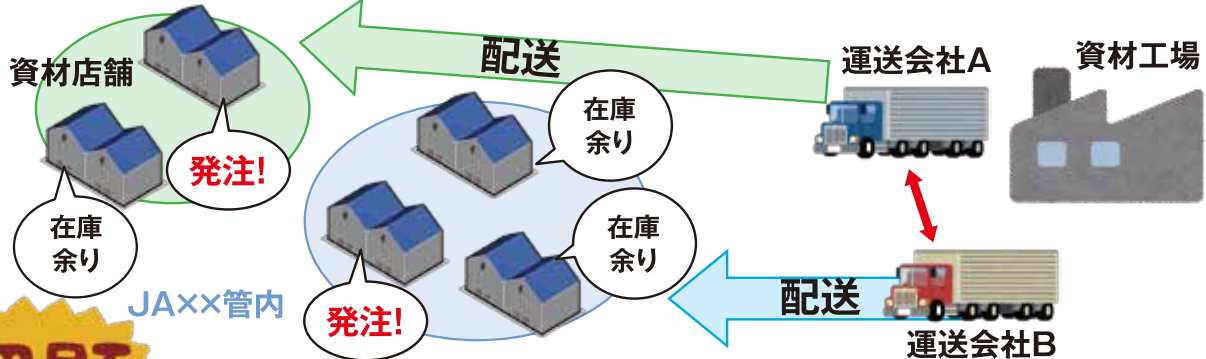
まとめて仕入れたら安くないの？



隣の店舗に在庫があるんじゃない？

中身同じなのにパッケージ違うの？

JAX管内



課題

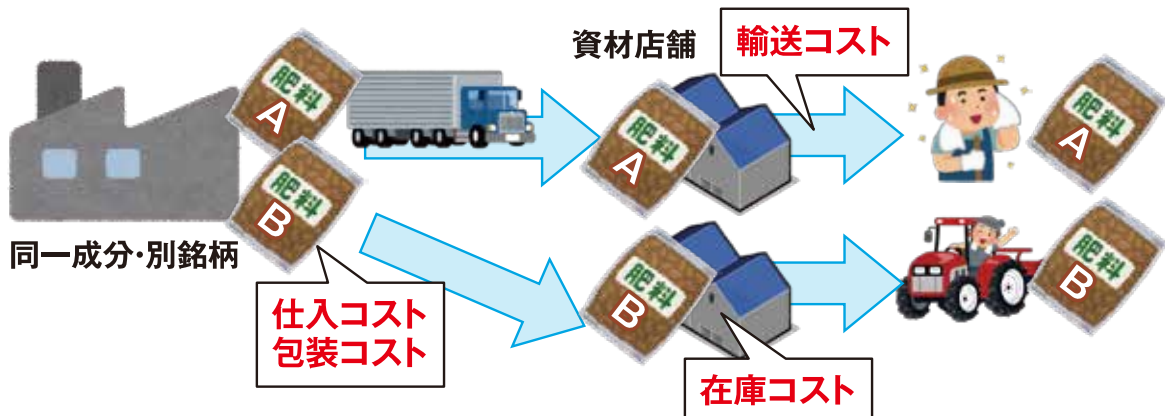
☆共有すべき課題☆

効率を追求した購買事業の実践が必要!

【参考】同一成分・複数銘柄肥料の取り扱いにより発生するコスト

肥料成分:N20-P10-K10(窒素溶出期間の差90~120日)

銘柄A	銘柄B	窒素溶出期間				リン 10	カリ 10	成分
		速効	90日	100日	120日			
エムコート2000 100日	—	10	—	10	—	10	10	
エムコート2000 中生	元ヒ一発1号	10	—	7	3	10	10	
LP2000	元ヒ一発2号	8	—	8.4	3.6	10	10	
エムコート2000 早生	夢ごころ一発	10	10	—	—	10	10	



コストを低減します!

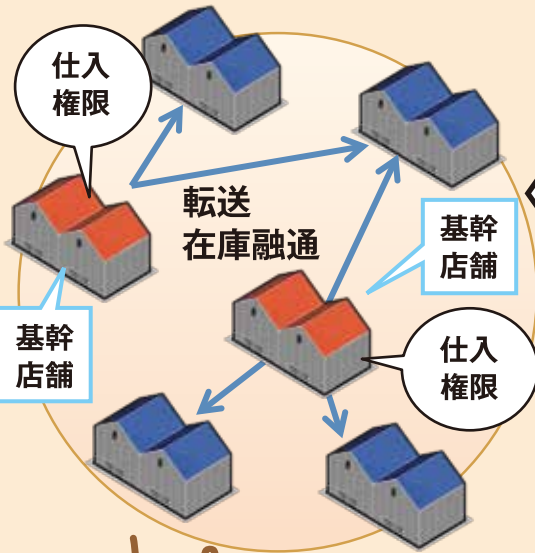


重要!



各店舗の資材在庫情報を一元管理し、「ムダな仕入、ムダな在庫」を削減するとともに、経済基幹店舗に機能を集約することで在庫・発注・配送にかかるコストを低減します。

県域オールJA管内



コストカット!

仕入ロット拡大
発注回数削減

資材工場

農家直送

コストカット!

ポイント



店舗のムダ在庫を削減!

過剰在庫には保管コストや廃棄コストが発生します。経済基幹店舗へ機能を集約し、現73店舗の在庫回転率を0.1向上すれば、県全体の平均在庫を1.2億円削減できます。

肥料銘柄を集約!出荷資材も集約!

肥料は用途・効能・成分等に応じた集約を進め、低価格で供給します。出荷資材も取引先と協議し、輸送や陳列方法を起点とした規格の統一を進めます。

あまおう出荷用段ボール (G規格)
年間1,240万ケース



25種類 (20JA)

長さ 290~305mm
幅 206~220mm
高さ 55~60mm

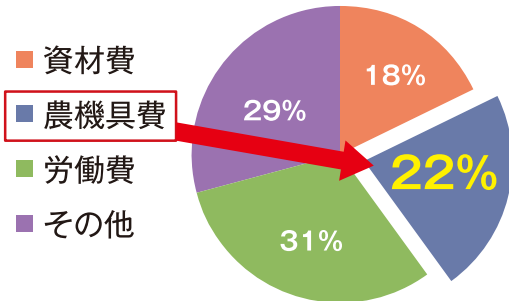
標準

規格・サイズ・デザイン
等を統一し、一括仕入れ
(スケールメリット)

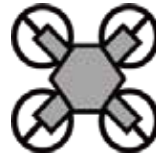
店舗間相互融通
在庫リスク減少

県域オールJAが組合員の

米の生産費割合(農水省調査)



肥料・農薬よりも農機コストが発生
中古農機販売は全体の3%
農機の大型化=重整備の必要性増加
IT化・高性能化=メンテナンス費用の増加



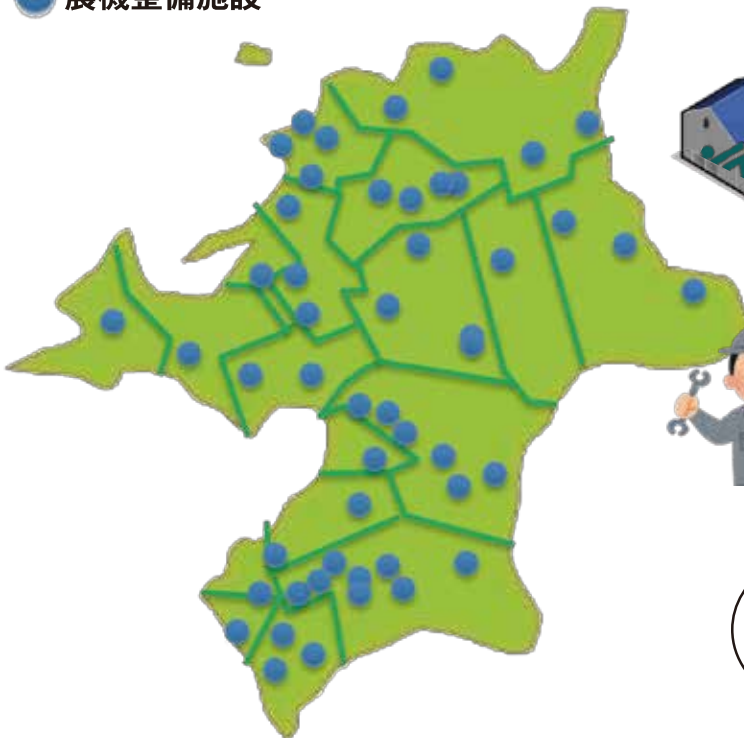
課題

☆共有すべき課題☆

農機事業の広域化・担当職員の専門化が必要!

【参考】県内農機整備施設の状況

● 農機整備施設



JA農機施設 48カ所
協同農機事業施設 1カ所
全農ふくれん施設 1カ所

農機担当職員 117名
施設あたり担当者数 4名
平均年齢50歳以上 4JA

担当職員の高齢化
人手不足
技術継承不足

農業経営に貢献します!



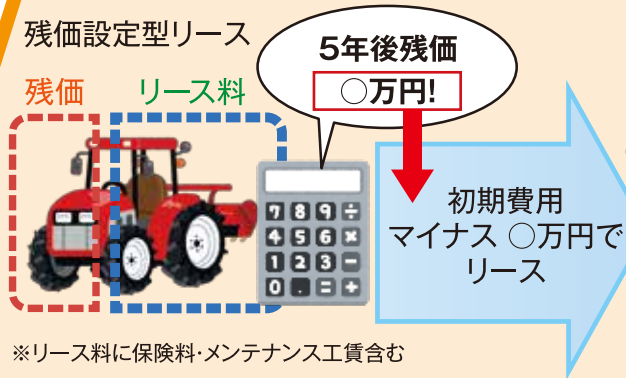
重要!



農機センター機能の見直しや拠点整備を進め、効率的事業体制の構築と農機担当者の専門技術向上を図ります。
県域オールJAでは、新たな農機サービスで農機関連コストの最適化を図り、組合員の所得を向上します。



JA出資型農業生産法人
生産実務を通じた育成



※リース料に保険料・メンテナンス工賃含む

初期投資

DOWN!

トータルコスト

DOWN!

アフターサービス付き農機



組合員の農機保有情報を有効活用!

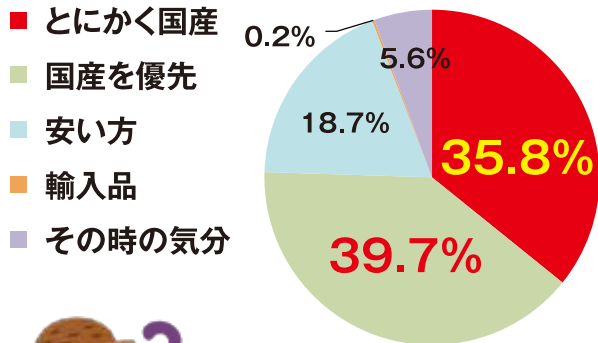
農機保有情報や経営情報を一元管理し、タイムリーなメンテナンス提案や経営状況に合わせた更新提案等を行います。



メンテナンス時期
農機コスト最適化
経営に合わせた投資

県域オールJAが豊かな

スーパー等での食材選択 (JC総研調査)



国産派8割!!



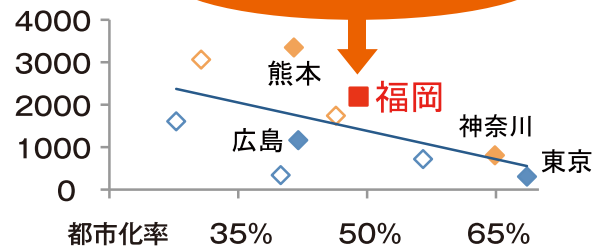
「国産選択派」8割なのに
日本の食料自給率38%?
福岡の食料自給率20%?



【福岡県の特徴】
高い生産力! (産出額)
高い消費力! (都市化率)

「県産県消」が可能なのに
県産県消率30%?

農業総産出
(億円)



「県産県消」が可能!

都市化率 = (県庁所在地 + 政令指定都市) 人口 ÷ 県内人口

課題

☆共有すべき課題☆

豊かな食生活を提供する「福産福消」の実現が必要!

《JAグループ福岡2022ビジョン》

消費者と生産者をつなぐ“架け橋”となり
福岡県民に健康的な食生活を提供している。



【参考】福岡県の市場規模 (昼食)

企業数22万4,000件 (従業員数221万人)

大学35校、短大21校、高校167校 (学生12万人)

※従業員221万人×200日×500円=2,210億円

※学生数12万人×200日×500円=12億円

※福岡県民500万人×100日×500円=2,500億円

「福産福消」で県民の食生活を豊かにしたい!



福産福消

食生活を提供します!

重要!



県域オールJAは学生食堂や社員食堂に「JAキッチン」を設置し、
外食率が高い平日の昼食をターゲットとして、県産・国産農畜産物
100%の食事と『豊かな食生活』を提供します。

☆JAキッチン☆



会員カード

よい食サポーター
(准組合員)

優良



会員・組合員割引
キャッシュレス利用
食の履歴で健康管理

GAP食材・伝統野菜・JA6次化商品

調理提供=農産物付加価値の向上
調理提供=出荷規格簡素化



GAP食材・JA農畜産物使用!「外の食事も安全・安心なJAで!」

JAが食堂を企画・設計し、JA=「国産・安全」の認知度を活かした産地見える化メニューで
差別化を図るとともに、福岡の食文化の認知度向上・継承に貢献します。

「買って応援」から「食べて応援」へ!JAファンづくりを促進!

利用者登録制「よい食サポーター」を導入し、サポーターや組合員には割引価格で提供します。
また、JA通帳決済割引や食の履歴管理など、JA総合事業を活かした運営を行います。

買って農業を応援



毎日食べて農業を応援!





現場力強化!!

県域オールJAが 総合事業を活かした就農支援を行います!

重要!



農ある暮らし推進事業やJA出資型法人での研修・実習、応援基金(目的積立金)による就農支援など、将来の正組合員獲得につながる対策を充実します。

農ある暮らし推進事業

中期滞在施設を整備
(農地付き)



就農相談
JA総合事業サポート



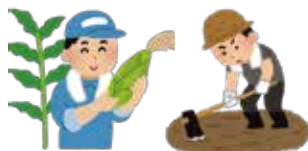
総合事業で
総合支援!!



新規就農支援窓口

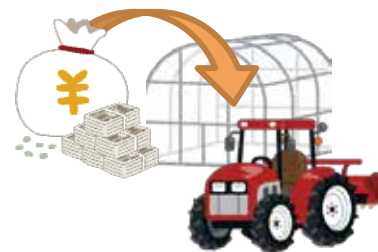


技術研修・実習



→正組合員化

新規就農支援基金



農業を身近に!農業を選択肢のひとつに!

農地の取得や設備投資など、就農希望者には多くの困難が…
「どこに相談すればいいの?何から始めたらいいの?」といった不安も就農に踏み出せない原因となっています。県域オールJAでは新規就農支援窓口を設置し、「JAに相談すれば解決する」体制を構築、JA総合事業を活かした就農支援を行います。



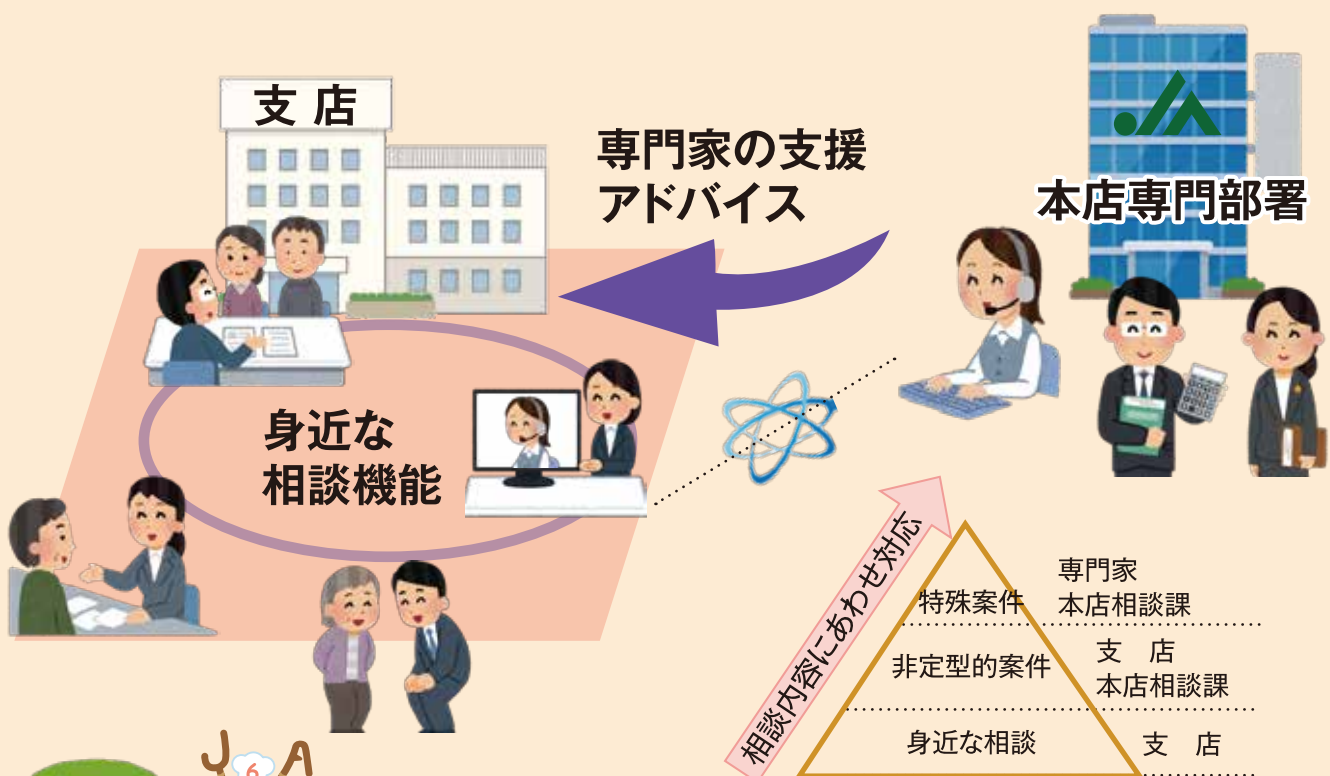
現場力強化!!

県域オールJAがあらゆる相談に対応します!

重要!



相続・法務・税務・資産運用など、お近くの支店で組合員の暮らしに関するあらゆる相談に丁寧に対応します。



お近くの支店でワンストップ解決!

支店職員が窓口となり、相談の内容に合わせて本店専門部署や専門家に意見を求めるなど、あらゆる「暮らしの相談」をワンストップで解決する支店づくりに取り組みます。



支店職員の相談対応レベル向上!!

研修や事務指導の充実・強化、相談対応コンクール実施等によって相談対応レベル向上を図り、より迅速に解決する体制を構築します。



県域オールJAが 地域を活性化します!

重要!



「JAファン感謝祭」を開催し、県産農畜産物の価値向上、地域協同組合としての存在意義の発揮、JAファンづくりに取り組めます。



ポイント



日ごろの感謝を組合員に還元!

「JAファン感謝祭」は組合員限定イベントとし、県域オールJAの組合員であることのプレミアム感を演出します。
様々な催しを企画し、日ごろの感謝を組合員に還元します。



地域密着

県域オールJAが 地域密着活動を展開します!

重要!



県域オールJAビジョンに示す「あなたとふるさとのいちばん近くに」の実現に向かって、JA支店を起点とした地域密着活動を展開します。

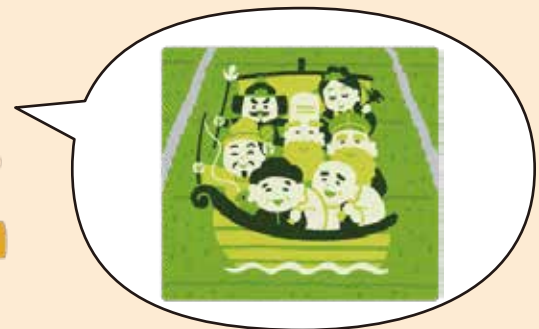


みんなで企画、みんなで実行!

全支店に支店運営委員会を設置し、支店単位で組合員を主体とする地域活動を企画・実践します。



支店運営委員会

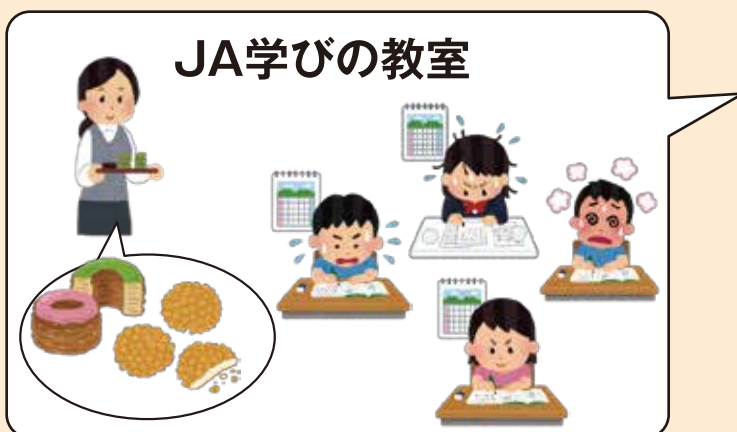


※田んぼアート



何かあったら気軽にお近くのJAへ!

サークル活動や小・中学生の学習支援などに会議室を活用することで、気軽に立ち寄ることができ、「地域の集いの場」として認知される身近なJA支店を目指します。



保護者への提案・相談対応



県域オールJAが 福岡で存在意義を発揮します!



県域オールJAは、地域協同組合としての存在意義を発揮し、「地域になくてはならないJA」を目指します。



貯まる、使えるJA総合ポイント!

JA総合事業を最大限に活かし、事業利用に加え、会議等への参加や支店・事業所への来店、組織活動や優良経営表彰等に対してもポイントを付与します。

貯まる



事業利用も!



来店(会議)も!

記念日も!

POINT



総合ポイント

JA 組合員

使える

XXpt
=▲1%



優遇・特典にも!



ギフト交換にも!



統一広報でいちばん知られるJAに!

福岡で就農を希望する人や福岡の農業・農畜産物に関心を持つ人に対して、「食と農」をテーマにJAならではの情報を発信し、県域という規模を活かした「いちばん知られる」広報を展開します。



県域オールJAがふるさと福岡を活性化します!

重要!



企業協力会を設置し、地元企業や団体とのビジョンの共有・関係強化を図ります。



地域と共に成長する協同組合に!

食と農をテーマにした講演会や、協力企業との合同就職相談会等を開催し、農業従事者の増加とともに福岡県の雇用創出に貢献します。その他、学習会や農業体験などの交流イベントを実施し、事業提携や農業理解の促進を図ります。

 **JAグループ 福岡 改革推進本部**

お問い合わせ先

JA福岡中央会
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4丁目10番12号
TEL:092-711-3818 FAX:092-724-1218